



▲本人(中央)

バルセロナのグラシアに暮らす

くわしま みちえ
桑島 美智恵さん(スペイン・バルセロナ在住)



▲「HAIKU」という日本のお土産品店



▲グラシアの中心「VERDI 通り」



▲「フィエスタ・デ・グラシア」の様子



▲平日はセラピーや音楽リハーサルをしています。

バルセロナでの生活はもう14年になりますが、今住んでいるグラシアは、一番好きな地区です。

ミニ・コスモポリタンな地域

人口162万人のバルセロナ市は10地区に分けられていて、その一つが人口12万1347人のグラシアです。

グラシアは「VERDI通り」を中心に、市場から小さなお店、映画館、劇場、ブティック、バーなど、なんでも身近にあります。長年住んでいる地元の人、グラシアに魅了されて移住する外国人、家族世帯から一人暮らし、年齢層もさまざまな人がいて、グラシア独自の味わいとコスモポリタン(国際的)な空気が融合しています。アジア料理からアフリカ料理と、レストランも多国籍で、「VERDI映画館」では、吹替や字幕なしのオリジナル版で国内外の映画を見ることができます。私は都会っ子なので、グラシアの利便性と活気が好きですが、ゆっくりと散歩やお茶ができる雰囲気も気に入っています。

個性が強く、ボヘミアンでレトロなグラシア

この地区には、先進主義的な政治活動家や芸術家、自営業者も多く、かなりパーソナリティー(性格や意見)のはっきりした人が多いです。そのためか、カタルーニャ独立デモも盛んですが、海外

のニュースで報道されるような暴動や危険などはまったくありません。

また、エコや健康志向の人やベジタリアンが多く、専門食品店やヨガ教室、セラピーなどもたくさんあります。友だちになった洋服店の人に服を仕立ててもらったり、パン屋さんでパンを特注できたり、家の一角をお店として開いているところも多く、都会に住みながら昔ながらの商店街やコミュニティで買い物しているような感覚です。

おしゃれでクリエイティブな街並み

街並みは、古い建物の外装をそのままに、内装を現代的に改装しているところが多いので、落ち着いた中に生き生きとした印象です。また、個人店舗はそれぞれの個性や味わいを大切にしているので、街を歩いているだけでも楽しいです。

グラシアには野外プラザ(広場)が数か所あり、プラザを囲むようにあるバーやレストランでは、野外テラスでお茶や食事ができます。友だちと会うときはレストランでの待ち合わせではなく、「〇〇プラザで何時頃に」と約束し、一番先に着いた人がテラスの席を取ってから、どこのレストランにいるかを連絡します。レストランでの食事より、野外テラスでお話することが一番の目的なのです。

グラシアは住みやすい

私は、セラピー(カウンセリングやマッサージ)と音楽活動を仕事にしています。グラシアはアクセスもよく、セラピーの後に散歩するのも楽しいと、お客様には喜んでいただいています。また、音楽のリハーサルやコンサートをする場所が豊富なので、ミュージシャンとしてもありがたい場所です。

フィエスタ デ グラシア 「FIESTA DE GRACIA」

グラシアではさまざまな催しがありますが、中でも一番のおすすめは毎年8月に行われる「FIESTA DE GRACIA」です。この時期は、グラシア全体がほぼ歩行者天国となり、住民が通りごとに自分たちでテーマを決めて飾りつけ、一番人気を競います。準備期間からFIESTAが開催される1週間のグラシアは熱いです。バルセロナにお越しの際は、ぜひグラシアにも来てください。(写真・文：桑島 美智恵さん)

